

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第3回瀬戸内警察署協議会	
会 議 日 時	令和8年2月19日木曜日 午後2時から午後3時40分まで	
会 議 場 所	瀬戸内警察署 会議室	
出 席 者	1 警察署協議会	会長以下5人
	2 警察署	署長以下8人
<p>（会議の概要）</p> <p>1 開会の言葉</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>4 協議</p> <p>(1) 管内の治安情勢説明</p> <p>ア 令和8年鹿児島県警察運営指針・運営重点の説明</p> <p>イ 令和7年中の各種統計や各種活動結果の紹介</p> <p>ウ 質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 委員           <p>管内の少年補導の状況で深夜徘徊があったが、補導対象となる時間帯は。</p> </li> <li>○ 回答           <p>鹿児島県青少年保護育成条例では、深夜について、午後11時から午前4時までの間と定められている。</p> <p>当該時間帯に少年を認めた場合、まずは声かけを実施し、徘徊状況や態様、保護者への確認を踏まえて補導を行っている。</p> </li> <li>● 委員           <p>子どもへの声かけ事案について、発生時間帯や場所に傾向はあるのか。</p> </li> <li>○ 回答           <p>発生時間帯や場所について一概に申し上げることはできないが、主に子どもが出歩く時間帯や場所で発生しているので、重点的に街頭活動を実施している。</p> </li> <li>● 委員           <p>朝の登校時間帯は、保護者が町内に立ったり、青色防犯パトロールを通じて子どもたちを見守ることができるが、下校時間帯から夕方にかけては、仕事や家事が忙しく、なかなか活動することができない。</p> <p>警察でパトロールをしてもらえると、住民も安心できると思う。</p> </li> <li>○ 回答           <p>下校時間帯や夕方におけるパトロールを強化する。</p> </li> </ul> <p>(2) 委員による住民の意見・要望の提言等</p> <p>ア 奄美大島への移住者について</p>		

● 委員

最近は時代の流れを反映して島内へ移住してくる方が多く、手助けしてあげたいと感じる一方、諸問題も発生している。

現状と対策、アドバイスを伺いたい。

○ 回答

人種や性別に関係なく、様々な方がその土地を気に入り、移住を決意するものと思われる。

移住については、初めて訪れる場所やその土地特有の文化に戸惑い、地元の方となかなかなじめず、中にはトラブルに発展することも考えられる。

これらの問題は、奄美大島に限ったことではなく、全国どこでも起こりうる課題であり、まずは、移住の手続きを請け負う各自治体や移住支援団体が、第一に対応するものと思われる。

各自治体等への申入れや情報提供によって、事件性を疑うものや犯罪等の発生が予見されるものについては、警察や他関係機関へ情報共有や引継ぎがなされるものと解している。

まずは地域交流の基盤となるコミュニティを構築していただき、その中で、気になることや不安に感じたことがあれば、警察署や交番、駐在所へ遠慮なく相談していただきたい。

● 委員

移住者に関する特異な取扱いについて、役場や保護司が把握した内容は警察に情報提供されるのか。

○ 回答

事案の内容に応じて情報提供を受けている。

警察が取り扱った事案についても、必要があれば関係機関へ照会等を行い、情報共有を図っている。

(3) 諮問に対する答申等

ア 諮問

自転車に関する各種対策について

イ 回答

- 自転車に関する交通ルールは子どもだけでなく、大人も理解していないこともあるので、それぞれに合った交通教育を実施、充実させる必要がある。
- 各学校での交通安全教室では、事前にアンケートを実施し、理解していない内容を重点的に指導してはどうか。
- 地域の寄合やPTA総会の場で、自転車防犯や交通ルールに関する講座を実施してはどうか。
- 朝の見守り活動で広報車を活用し、防犯や交通安全に関する広報を行う。

5 令和8年上半期瀬戸内警察署速度取締り指針

6 警察業務紹介

7 閉会の言葉

備考